



未来を夢見て Season3

2023/1/10 No. 172

令和5年 新年にあたって

～持続可能な社会の実現を目指して～

令和5年が始まりました。静かだった年末年始の学校も職員の皆さんが集まるようになり、今日からは子どもたちも学校に戻ってきて、また賑やかな日常が始まりそうです。今年の干支は卯。うさぎは飛び跳ねることから飛躍する、という意味でも使われています。今年が小野小の子どもたちと職員の皆さんにとってさらなる飛躍の1年となりますように心から御祈念申し上げます。



さて、本日の始業式では「持続可能な社会（や学校）の実現」をテーマに話の内容を考えました。

（前略）新年にあたって、校長先生から今日は持続可能な開発目標SDGsのことについて話したいと思います。持続可能というのは、将来にわたって長く続けていくことができること、という意味です。皆さんも町の中でこのようなロゴを見たことがあると思います。

現在、地球上では地球温暖化や人権問題そして戦争など、地球で起きている様々な問題によりこのままだと私たち人類が暮らしていける世界は続けられなくなる・・・と心配されています。そこで、世界中の国々が集まった国際連合で話し合いが重ねられ、その結果2015年にSDGsという目標が決まり2030年までに目標を達成しようと誓い合いました。目標の数は17個です。17の目標には「飢餓をゼロに」や「平和と公正を全ての人に」という目標などがあります。

そして、もう1つ、ここで大切にされていることは「だれ一人とり残さない」ということです。自分や自分の国のことだけを考えてはいけない、地球に住む私たち一人一人全員で取り組む、ということです。

さて、今度は皆さんの小野小学校について考えてみたいと思います。毎月行っている児童アンケートの結果を見せてもらおうと、ほとんどの人が楽しく学校生活を送っていることが分かって、校長先生だけでなく小野小学校で仕事をしている皆さん全員がとても安心してしています。そこで、さらに小野小学校がこれからもよい学校として続くように、SDGsという考え方のように2つのことを考えてみました。【ロゴ提示】

さて、どんな目標でしょうか。これは命はただ1つ。だからこれからも小野小学校のみなさんで命を大切にしましょう、という意味です。2つ目の目標は礼儀作法です。皆さんとてもよくできていますが、これからも小野小学校がよりよい学校として続くように頑張ってください。（後略）

さて、うさぎの諺と言え

二兎を追うものは一兎をも得ず

が有名ですね。同時に二つの事を得ようとする、どちらも成し遂げられなくなってしまうことの意味が込められています。

今日は延期になっていた学校運営反省会も開催されます。冒頭、来年度の経営ビジョンの素案をお示しする予定です。やらなければならないことはたくさんありますが、あれもこれもと手を広げず、今子どもたちのためにやらなければならないことに専心して取り組んでいきたいと思っています。

（文責：手代木）